

3.1.4 食品のアレルギー物質表示の認知・活用度

(1) 加工食品の成分表示を見る頻度

加工食品の成分表示を見る人（「必ず見る」「よく見る」「しばしば見る」と回答した人の合計）は、全回答者（270人）中79.2%（214人）だった。

しかし、表示を「必ず見る」人は、自分または家族に食物アレルギーがあると思う人（121人）でも35.5%（43人）しかおらず、アレルギーがない人（149人）では10.7%（16人）にとどまった。

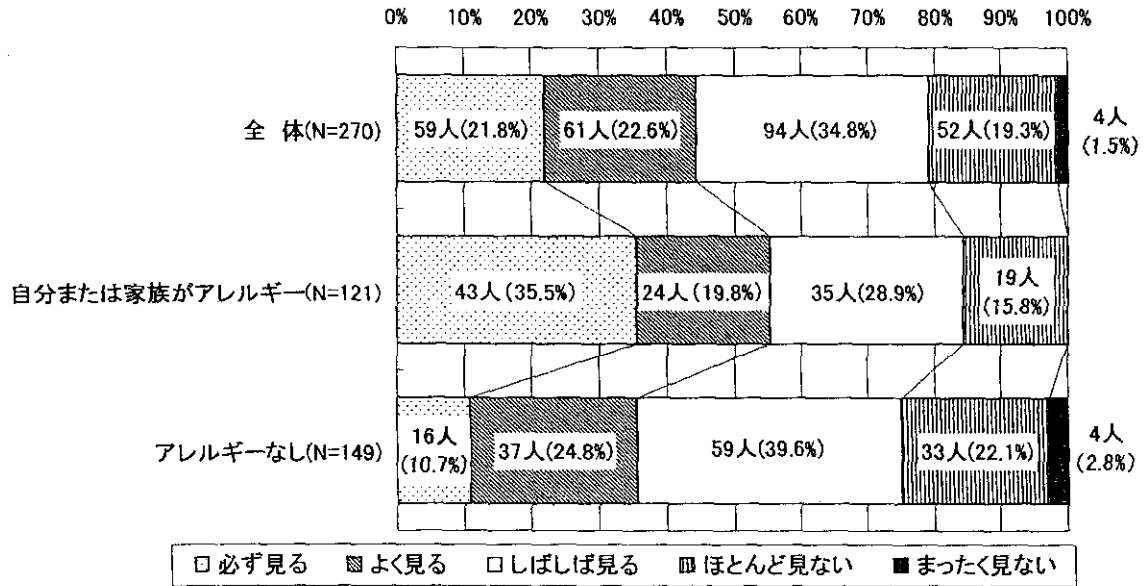


図13 加工食品の成分表示をよく見るか

(2) 成分表示を見る目的

加工食品の成分表示を見る目的は、「何でできているかを知りたいから」71.9%（194人）、「どんな食品添加物が使われているかを知りたいから」64.1%（173人）が多い。

「食物アレルギーの原因となる原材料が含まれていないかを知りたいから」以外はアレルギーがある人とない人の成分表示を見る目的に大きな差は見られなかった。

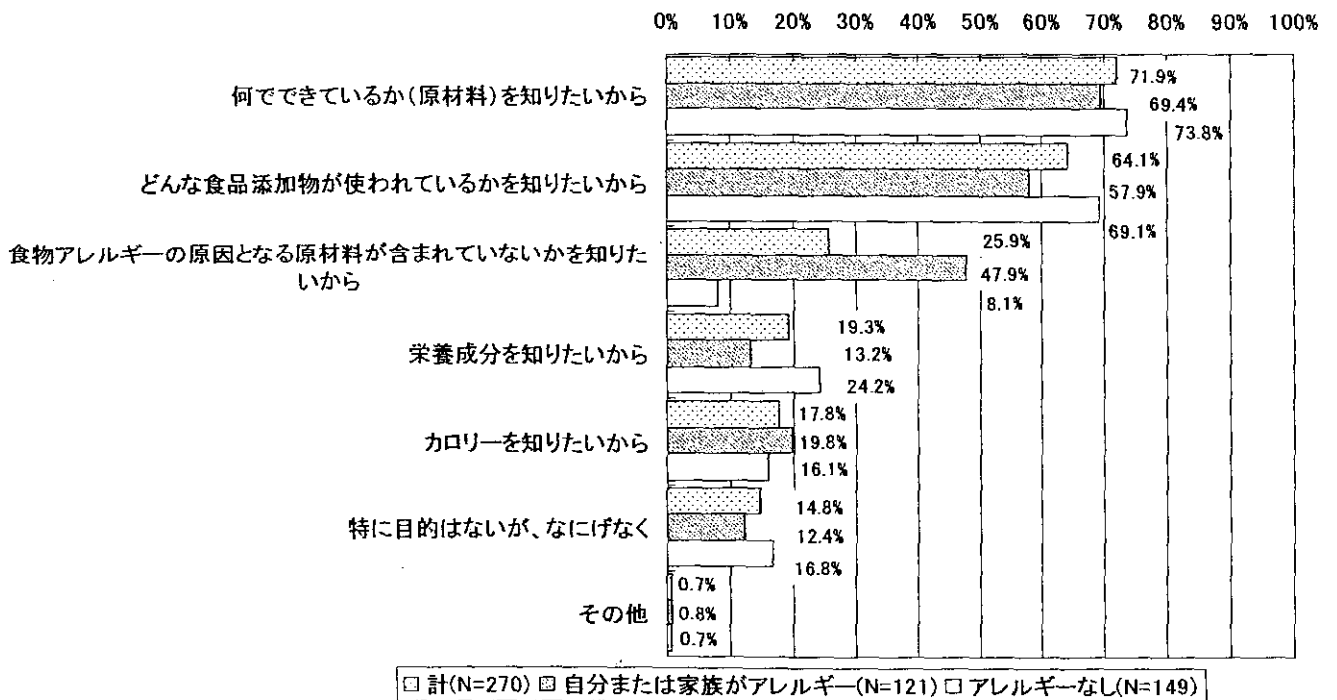


図14 加工食品の成分表示を見る目的【主なもの3つまで】

(3) アレルギー物質表示の認知度

加工食品に食物アレルギーを起こしやすい原材料を表示する制度ができたことを知っている人は全体で41.1%(111人)、自分または家族にアレルギーのあると思う人で57.0%(69人)、アレルギーのない人では28.2%(42人)で、認知度は低かった。

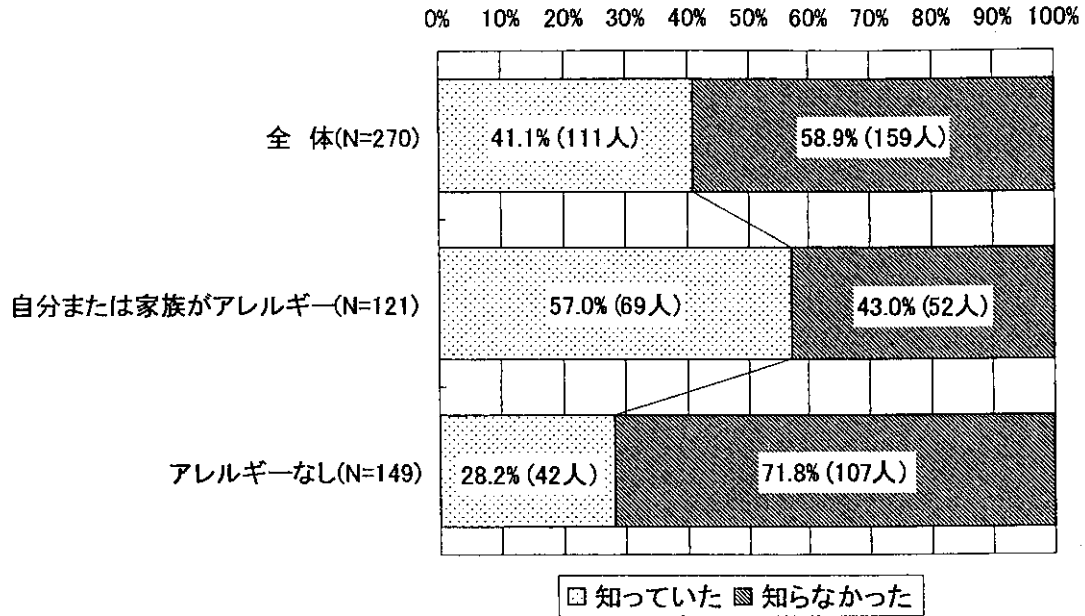


図15 食品のアレルギー物質表示の認知度

加工食品の成分表示を見る人（「必ず見る」「よく見る」「しばしば見る」と回答した人214人）でも、自分または家族に食物アレルギーがあると思う人でも61.8%(63人)だった。

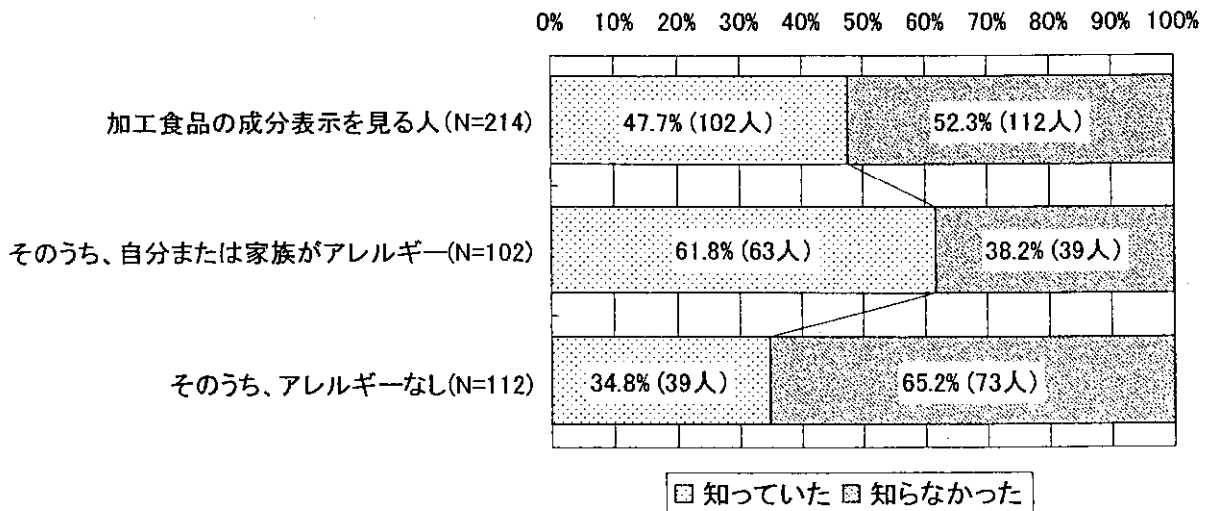


図16 加工食品の成分表示を見る人のアレルギー物質表示の認知度

さらに、加工食品の成分表示を「食物アレルギーの原因となる原材料が含まれていないかを知りたいから」と回答した70人が、アレルギー物質の表示制度ができたことを知っているかを調べたところ、知っていた人は64.3%(45人)だった。自分または家族に食物アレルギーがあると思う人

(58人)でも32.8%(19人)は表示ができたことを知らなかった。

アレルギー物質の表示制度ができ、義務づけられている品目があるといった認識はないまま、表示を見ていることがわかる。

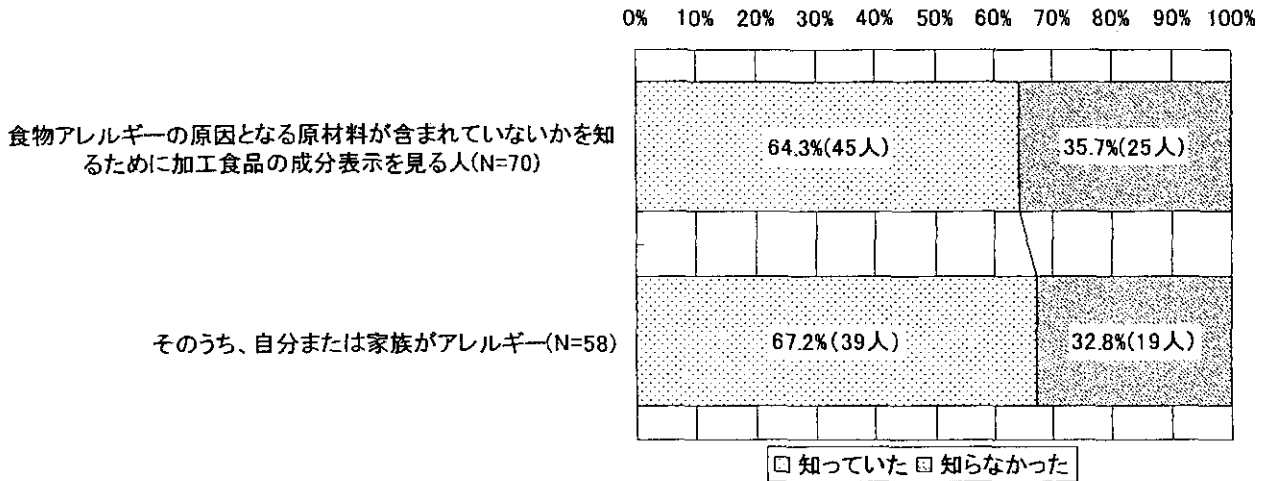


図17 アレルギー物質が含まれていないかを知るために加工食品の成分表示を見る人のアレルギー物質表示の認知度

(4) 義務表示と推奨表示の認知度

食物アレルギーを起こしやすい原材料を表示する制度ができたことを知っていた人(111人)に、表示が「義務づけられているアレルギー物質」と「推奨されているアレルギー物質」があることを知っているか尋ねた。

両方を知っていた人は全体で23.4%(26人)、アレルギーが自分または家族にあると思う人でも24.6%(17人)であった。「義務づけられているもの」は知っているが、「推奨されているもの」は知らない人が46.8%(52人)で最も多い。

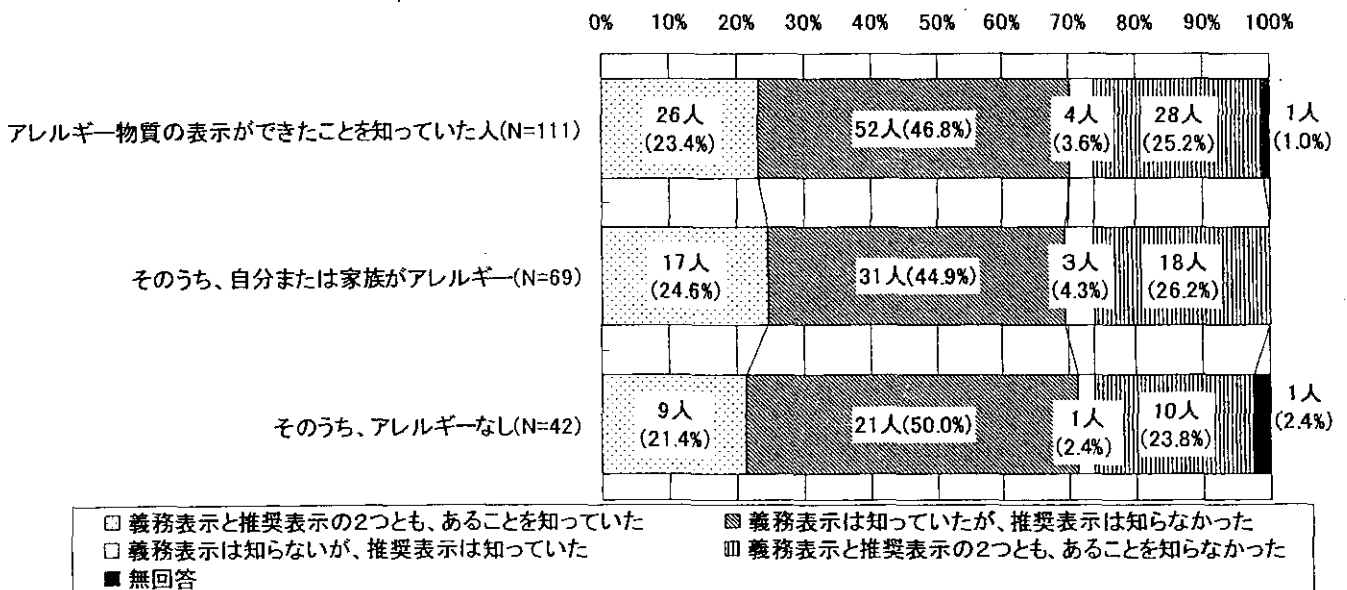


図18 食品のアレルギー物質表示の義務表示と推奨表示の認知度

(5) 義務表示品目の認知度

食物アレルギーの表示制度ができたことを知っていた人 (111 人) のうち、表示が義務づけられている 5 品目をすべて知っている人は、16.2% (18 人) と非常に少なかった。

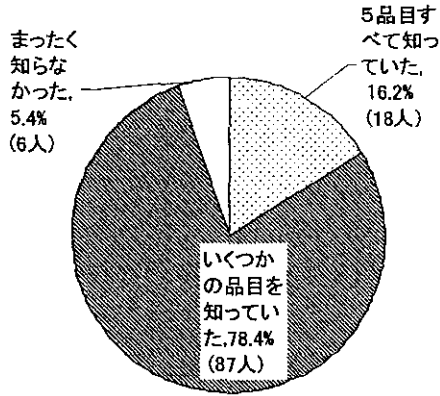


図 19 義務表示品目の認知度 (N=111)

5 品目のうちのいくつかを知っていると回答した 87 人 (1 品目 5 人、2 品目 10 人、3 品目 25 人、4 品目 47 人) の回答を見ると、「落花生」の認知度が非常に低い。

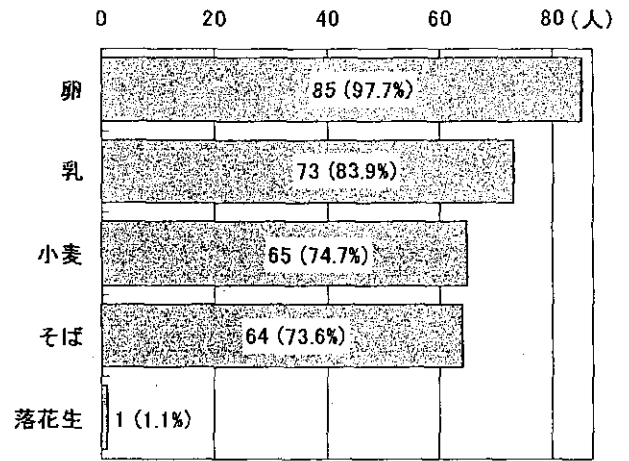


図 20 義務表示品目のうち知っていた品目 (N=87) 【複数回答】

自分または家族にアレルギーがあると思う人のうち、義務表示品目 5 品目が原因と思う人に、表示が義務づけられたことを知っているか、各品目ごとに調べてみた (表 5)。自分または家族がアレルギー症状を起こす原因となる品目の表示が義務づけられたことを知らない人があり、アレルギー物質の表示制度は十分浸透していないことがわかる。

表 5 自分または家族にアレルギーがある人が原因と考えている品目の表示が義務づけられていることを知っていたか

アレルギー原因物質	自分にアレルギーがある (N=63)		家族にアレルギーがある (N=88)	
	原因だと考えている人	義務づけられていることを知っていた人	原因だと考えている人	義務づけられていることを知っていた人
卵	5人	5人 (100.0%)	49人	31人 (63.3%)
乳	6人	2人 (33.3%)	26人	16人 (61.5%)
小麦	5人	3人 (60.0%)	16人	6人 (37.5%)
そば	13人	7人 (53.8%)	11人	7人 (63.6%)
落花生	5人	2人 (40.0%)	5人	0人 (0.0%)

(6) 推奨表示品目の認知度

食物アレルギーの表示制度ができたことを知っていた人 (111 人) のうち、表示が推奨されている 19 品目をすべて知っている人は一人もいなかった。

いくつかの品目を知っていると回答した 70 人で、半数以上の人を知っていたのは、「大豆」「えび」「さば」の 3 品目だけだった (表 6)。

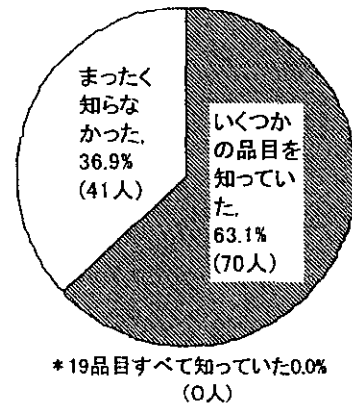


図 21 推奨表示品目の認知度 (N=111)